

「第四次葉山町総合計画 後期基本計画」策定に向けた
基本施策のお金のかけ方・満足度等アンケート調査

令和2年

葉 山 町

目 次

I . 調査概要	3
II . 調査結果	4
1 . 回答者の属性	4
2 . 葉山町の地域特性・地域力について	17
3 . 協働によるまちづくり	23
5 . 事業へのお金のかけ方について	30
6 . まちづくりへの満足度について	31

I. 調査概要

◆調査の目的：この調査は、平成27年度から令和6年度までの本町のまちづくりの指針として定めている「第四次葉山町総合計画」における令和3年度から令和6年度までの後半4年間を計画期間とする「後期基本計画」の策定にあたり、町として進めるべき基本施策を検討する際の基礎資料として活用させていただくことを目的として実施しました。

◆調査方法：調査対象 15歳以上の町民から無作為に抽出した1,500人
調査方法 郵送による配布・回収
調査時期 令和2年5月

◆回収状況：配布数 1,500票
回収数（有効回収数） 739票 （回収率 49.3%）

◆集計結果の見方

○設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなっています。

○設問には1つのみ答えるもの（シングルアンサー）と複数回答のもの（マルチアンサー）があり、マルチアンサーの設問では、構成比の合計は100%を超えます。

○構成比は選択肢ごとに小数第2位を四捨五入しているため、その合計は100%にならないところがあります。

○グラフは、「その他」の選択肢や「無回答」などの表記を省略しているところがあります。

○回答者の属性別（居住、居住形態など）の回答状況を示す表（クロス集計）を掲載しました。

○各設問の母数とすべき実数は「n」と表記しました。

※クロス集計表の見方

○上段に実数、下段に構成比を表示し、選択肢の中で、第1位の項目については網掛にしています。

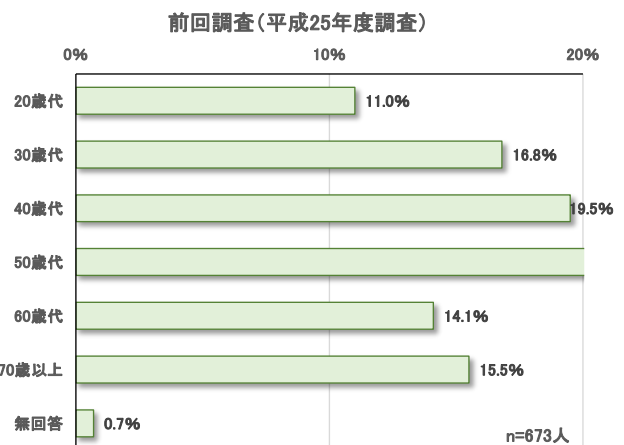
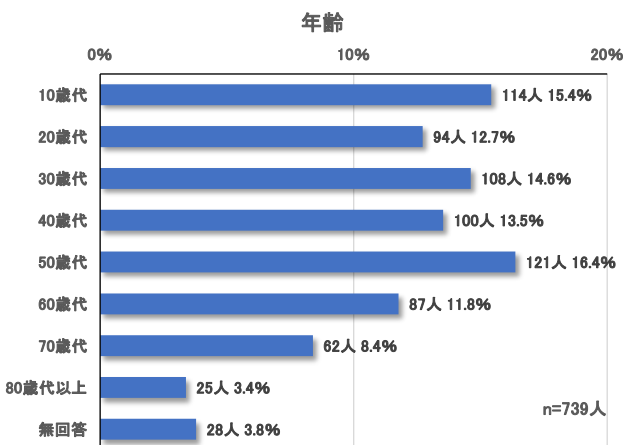
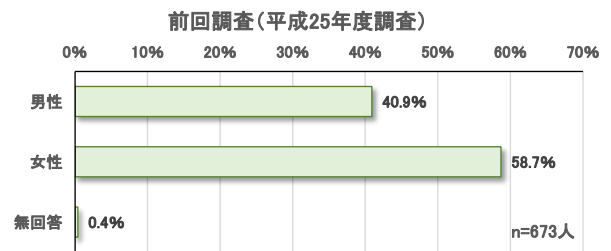
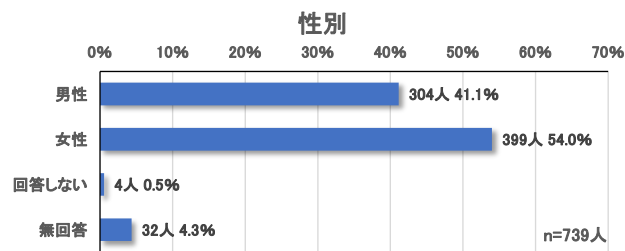
II. 調査結果

1. 回答者の属性

問1 性別はどちらですか。(どちらかに○)

問2 年齢を教えてください。(1つだけに○)

- ◆ アンケートの記入は、「女性」が54.0%、「男性」(41.1%)と女性の方がやや多い。年代別では、男性は10歳代がもっとも多く、女性は50歳代が最も多い。

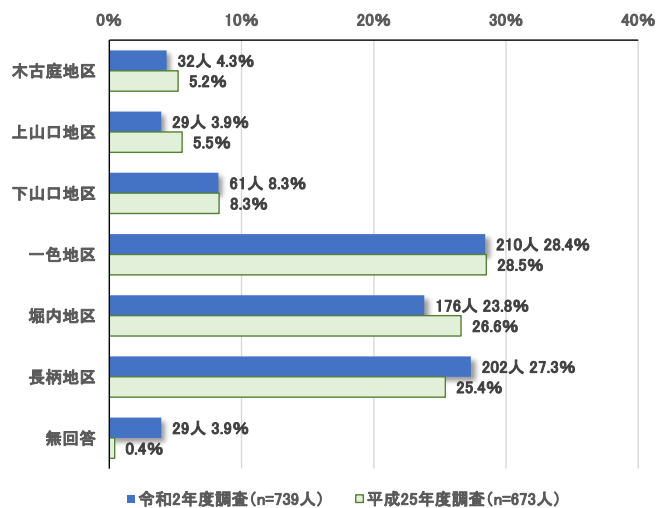


※ 調査対象について、令和元年度は、15歳以上の町民から無作為に抽出した1,500人
平成25年度調査では、20歳以上の町民から無作為に抽出した1,500人

	合計	問2 年齢								
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	無回答
全体	739 100.0	114 15.4	94 12.7	108 14.6	100 13.5	121 16.4	87 11.8	62 8.4	25 3.4	28 3.8
問1 性別	男性	55 18.1	40 13.2	37 12.2	48 15.8	40 13.2	40 13.2	32 10.5	12 3.9	0 0.0
	女性	59 14.8	53 13.3	70 17.5	48 12.0	80 20.1	47 11.8	30 7.5	12 3.0	0 0.0
	回答しない	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

問3 お住まいの地区はどこですか。(1つだけに○)

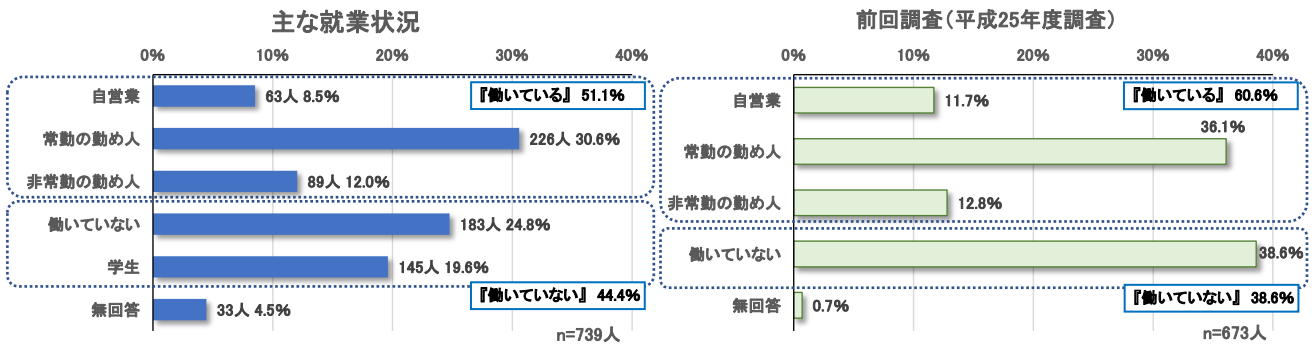
- ◆ 居住地区は、「一色地区」が28.4%と最も多く、次いで「長柄地区」27.3%、「堀内地区」23.8%などとなっている。



		合計	問3 居住地区						
			木古庭地区	上山口地区	下山口地区	一色地区	堀内地区	長柄地区	無回答
全体		739	32	29	61	210	176	202	29
		100.0	4.3	3.9	8.3	28.4	23.8	27.3	3.9
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	316	11	12	30	100	75	88	0
		100.0	3.5	3.8	9.5	31.6	23.7	27.8	0.0
	40～59歳	221	11	12	20	61	52	65	0
	100.0	5.0	5.4	9.0	27.6	23.5	29.4	0.0	
	60歳以上	174	10	5	11	49	49	49	1
	100.0	5.7	2.9	6.3	28.2	28.2	28.2	0.6	

問4 主な就業状況は次のうちどれですか。(1つだけに○)

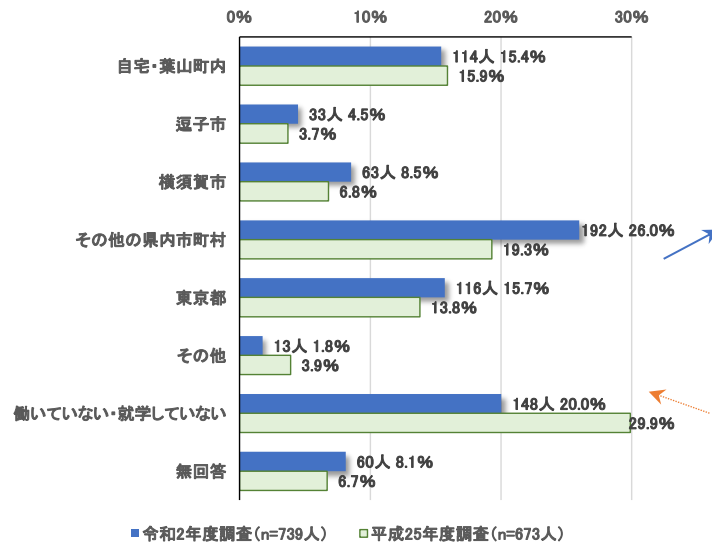
- ◆ 主な就業状況は「常勤の勤め人」が30.6%と最も多く、次いで「働いていない」が24.8%、「学生」が19.6%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、『働いていない』が5ポイント以上増加し、『働いている』が10ポイント近く減少している。
- ◆ 40歳未満では「学生」、40～59歳では「常勤の勤め人」、60歳以上では「働いていない」が最も多くなっている。



		合計	問4 主な就業状況					
			自営業	常勤の勤め人	非常勤の勤め人	働いていない	学生	無回答
全体		739	63	226	89	183	145	33
		100.0	8.5	30.6	12.0	24.8	19.6	4.5
問2 年齢(3区分)	40歳未満	316	15	93	21	41	145	1
		100.0	4.7	29.4	6.6	13.0	45.9	0.3
	40～59歳	221	26	106	48	40	0	1
		100.0	11.8	48.0	21.7	18.1	0.0	0.5
	60歳以上	174	22	27	20	102	0	3
		100.0	12.6	15.5	11.5	58.6	0.0	1.7

問5 主な通勤先(通学先)はどちらですか。(1つだけに○)

- ◆ 主な通勤先(通学先)は、「その他の県内市町村」が26.0%と最も多く、次いで「働いていない・就学していない」が20.0%、「自宅・葉山町内」が15.4%、「東京都」が15.7%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「働いていない・就職していない」が約10ポイント減少し、「その他の県内市町村」が5ポイント以上増加している。
- ◆ 40歳未満、40~59歳ともに、「その他の県内市町村」が最も多くなっている。



		合計	問5 主な通勤先(通学先)							
			自宅・葉山町内	逗子市	横須賀市	その他の県内市町村	東京都	その他	働いていない・就学していない	無回答
全体		739	114	33	63	192	116	13	148	60
		100.0	15.4	4.5	8.5	26.0	15.7	1.8	20.0	8.1
問2 年齢(3区分)	40歳未満	316	39	14	38	114	61	7	38	5
		100.0	12.3	4.4	12.0	36.1	19.3	2.2	12.0	1.6
	40~59歳	221	47	11	20	58	42	4	34	5
	100.0	21.3	5.0	9.0	26.2	19.0	1.8	15.4	2.3	
	60歳以上	174	28	8	5	20	13	2	76	22
	100.0	16.1	4.6	2.9	11.5	7.5	1.1	43.7	12.6	

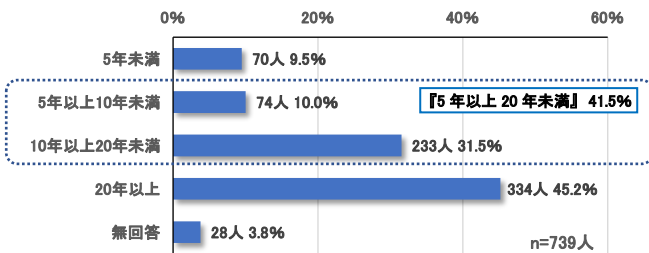
主な勤務先(通学先)(その他記述)

	件数
千葉県	3
茨城県	1
長野県	1
海外	1
合計	7

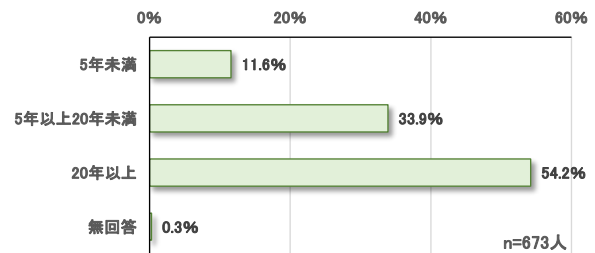
問6 葉山町に住んで何年になりますか。(1つだけに○)

- ◆ 居住年数は「20年以上」が45.2%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が31.5%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「20年以上」が約10ポイント減少し、『5年以上20年未満』が5ポイント以上増加している。
- ◆ 40歳未満では「10年以上20年未満」が最も多く、40歳以上では「20年以上」がもっとも多くなっている。

葉山町の居住期間



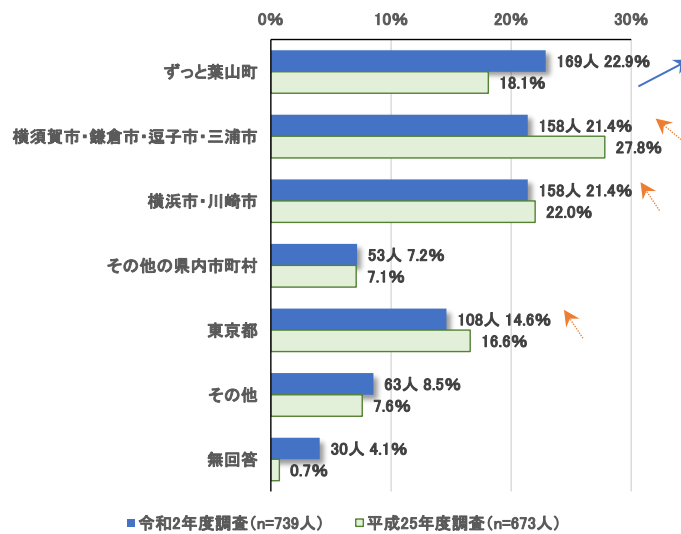
前回調査(平成25年度調査)



		合計	問6 葉山町の居住期間				
			5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答
全体		739	70	74	233	334	28
		100.0	9.5	10.0	31.5	45.2	3.8
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	316	44	40	134	98	0
		100.0	13.9	12.7	42.4	31.0	0.0
	40～59歳	221	18	26	82	95	0
	100.0	8.1	11.8	37.1	43.0	0.0	
	60歳以上	174	8	8	17	141	0
	100.0	4.6	4.6	9.8	81.0	0.0	

問7 葉山町に住む前はどちらにお住まいでしたか。(1つだけに○)

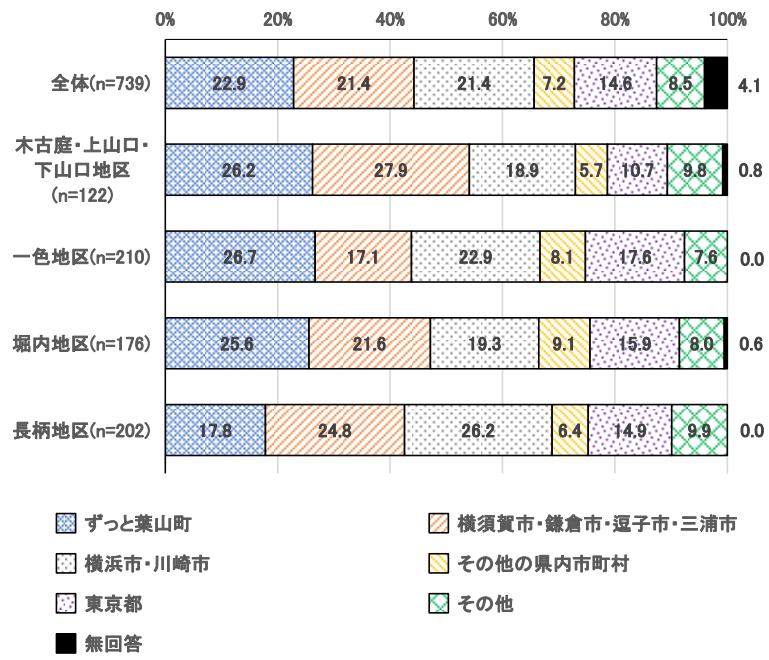
- ◆ 以前の居住地は「ずっと葉山町」が22.9%と最も多く、次いで「横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市」と「横浜市・川崎市」が共に21.4%、「東京都」が14.6%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、近隣の「横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市」が5ポイント以上減少、また「東京都」「横浜市・川崎市」も微減している一方、「ずっと葉山」が4.8ポイント増加している。
- ◆ 40歳未満では「ずっと葉山町」が最も多く、40歳以上では「横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市」が最も多くなっている。
- ◆ 居住地別にみると、木古庭・上山口・下山口地区では「横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市」、一色地区、堀内地区では「ずっと葉山町」、長柄地区では「横浜市・川崎市」が最も多くなっている。



		合計	問7 葉山町在住以前の居住地						
			ずっと葉山町	横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市	横浜市・川崎市	その他の県内市町村	東京都	その他	無回答
全体		739	169	158	158	53	108	63	30
		100.0	22.9	21.4	21.4	7.2	14.6	8.5	4.1
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	316	121	57	59	20	28	30	1
		100.0	38.3	18.0	18.7	6.3	8.9	9.5	0.3
	40～59歳	221	28	57	56	19	43	18	0
	100.0	12.7	25.8	25.3	8.6	19.5	8.1	0.0	
	60歳以上	174	20	44	43	14	37	15	1
	100.0	11.5	25.3	24.7	8.0	21.3	8.6	0.6	

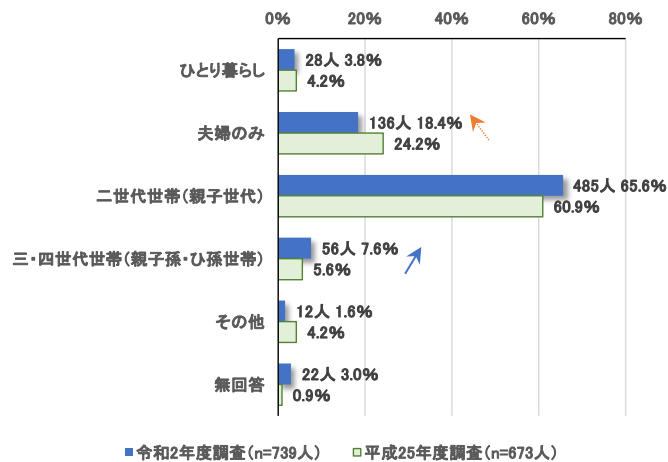
葉山町在住以前の居住地（その他記述）

居住地	件数	居住地	件数	居住地	件数	居住地	件数	
千葉県	15	愛知県	2	藤沢市	2	海外	10	
埼玉県	6	兵庫県	3	横須賀市	1	転勤族	1	
北海道	2	京都府	2	八丈島（東京都）	1			
宮城県	3	中国地方	1	横浜・川崎市・東京都	1			
岩手県	1	九州	1	横浜・川崎市・兵庫県	1			
茨城県	1			横浜市・横須賀市	1			
							合計	55



問8 家族構成はどれにあたりますか。(1つだけに○)

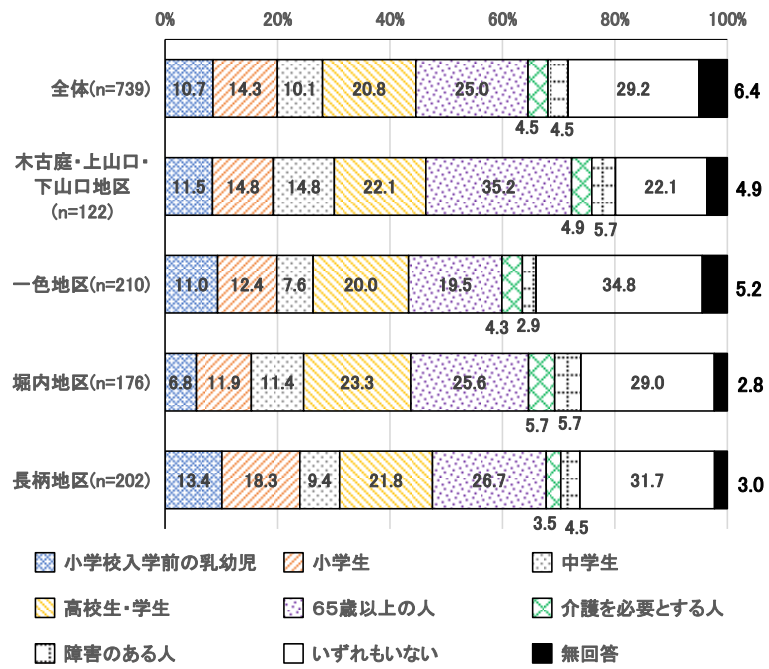
- ◆ 家族構成は「二世世代世帯（親子世帯）」が65.6%と多く、次いで「夫婦のみ」が18.4%、「三・四世代世帯（親子孫・ひ孫世帯）」が7.6%、「ひとり暮らし」が3.8%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「三・四世代世帯（親子孫・ひ孫世帯）」が微増し、「夫婦のみ」が微減している。
- ◆ 60歳未満では「二世世代世帯（親子世帯）」が最も多く、60歳以上では「夫婦のみ」が最も多くなっている。
- ◆ 居住地別にみると、木古庭・上山口・下山口地区で「65歳以上の人」が多く、その他の地域では「いずれもない」が多い。一色地区では「いずれもない」の割合がやや高い。



		合計	問8 家族構成					
			ひとり暮らし	夫婦のみ	二世世代世帯 (親子世代)	三・四世代世帯 (親子孫・ひ孫世帯)	その他	無回答
全体		739	28	136	485	56	12	22
		100.0	3.8	18.4	65.6	7.6	1.6	3.0
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	316	6	12	253	41	4	0
		100.0	1.9	3.8	80.1	13.0	1.3	0.0
	40～59歳	221	4	45	159	10	3	0
	100.0	1.8	20.4	71.9	4.5	1.4	0.0	
	60歳以上	174	18	77	66	4	5	4
		100.0	10.3	44.3	37.9	2.3	2.9	2.3

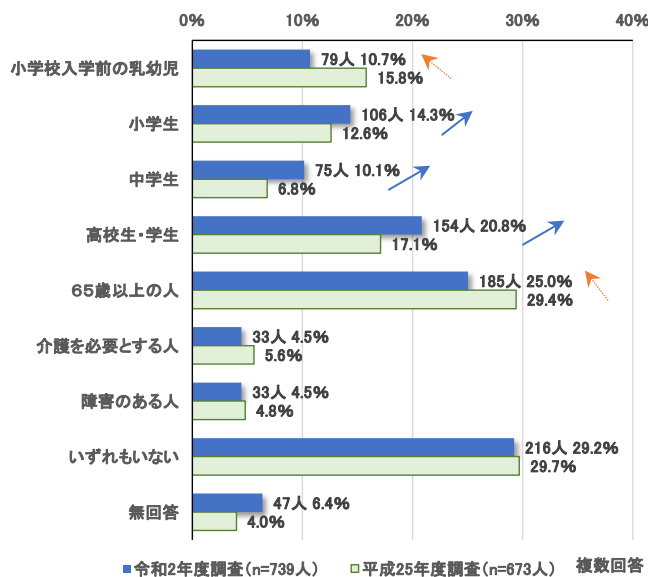
家族構成（その他記述）

	件数
児童養護施設	1
ひとり暮らし（現在一時的に三世代）	1
夫婦、私の兄の3人	1
叔母と二人	1
二人	1
合計	5



問9 同居しているご家族の中に次のような人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

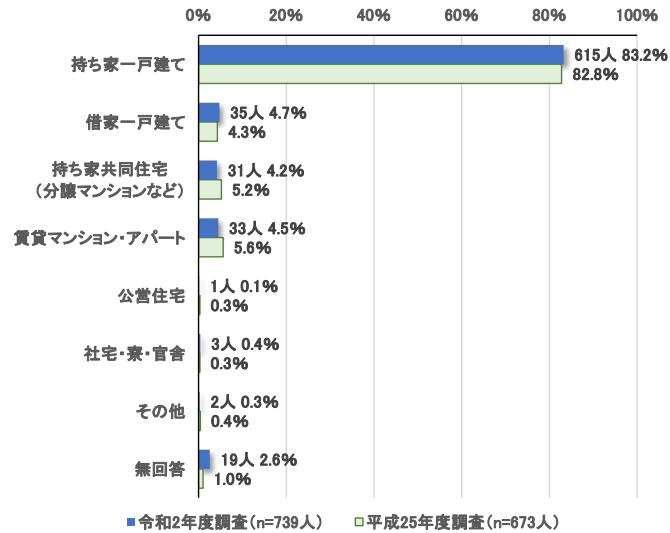
- ◆ 同居の家族については、「いずれもない」との回答が29.2%と最も多く、次いで「65歳以上の人」が25.0%、「高校生・学生」が20.8%などとなっている。また、「介護を必要とする人」がいる世帯、「障害のある人」がいる世帯はそれぞれ4.5%となっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「小学校入学前の乳幼児」「65歳以上の人」で約5ポイント減少し、「高校生・学生」「中学生」「小学生」が増えている。



	合計	問9 同居している家族									
		小学校入学前の乳幼児	小学生	中学生	高校生・学生	65歳以上の人	介護を必要とする人	障害のある人	いずれもない	無回答	
全体	739	79	106	75	154	185	33	33	216	47	
	100.0	10.7	14.3	10.1	20.8	25.0	4.5	4.5	29.2	6.4	
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	316	57	56	37	83	70	8	13	81	6
		100.0	18.0	17.7	11.7	26.3	22.2	2.5	4.1	25.6	1.9
	40～59歳	221	15	44	34	69	43	8	11	66	5
	100.0	6.8	19.9	15.4	31.2	19.5	3.6	5.0	29.9	2.3	
60歳以上	174	4	2	2	2	71	16	8	68	17	
	100.0	2.3	1.1	1.1	1.1	40.8	9.2	4.6	39.1	9.8	

問 10 ご自宅の形態はどれにあたりますか。(1つだけに○)

- ◆ 自宅の形態は、「持ち家一戸建て」が83.2%と多く、次いで「賃貸マンション・アパート」「持ち家共同住宅(分譲マンションなど)」「借家一戸建て」がそれぞれ5.6%、5.2%、4.3%などとなっている。
- ◆ 前回調査との差はみられない。



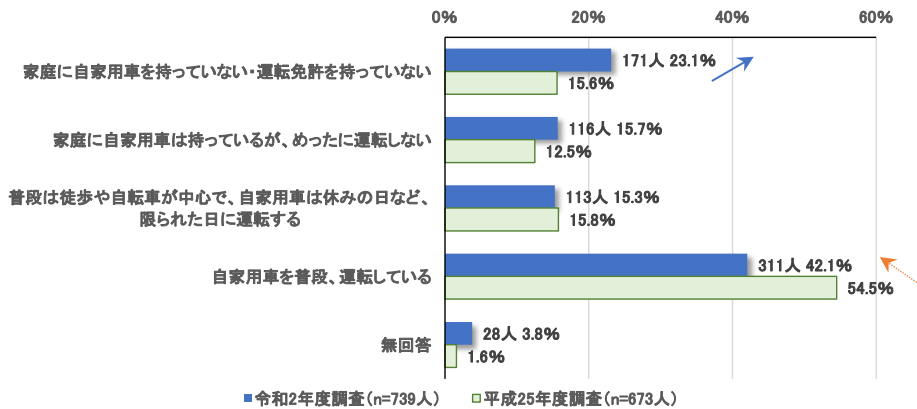
	合計	問10 住居形態								
		持ち家一戸建て	借家一戸建て	持ち家共同住宅 (分譲マンションなど)	賃貸マンション・アパート	公営住宅	社宅・寮・官舎	その他	無回答	
全体	739	615	35	31	33	1	3	2	19	
	100.0	83.2	4.7	4.2	4.5	0.1	0.4	0.3	2.6	
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	316	263	16	13	19	1	2	2	0
		100.0	83.2	5.1	4.1	6.0	0.3	0.6	0.6	0.0
	40～59歳	221	188	15	9	9	0	0	0	0
	100.0	85.1	6.8	4.1	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	60歳以上	174	155	3	9	5	0	1	0	1
	100.0	89.1	1.7	5.2	2.9	0.0	0.6	0.0	0.6	

住居形態 (その他記述)

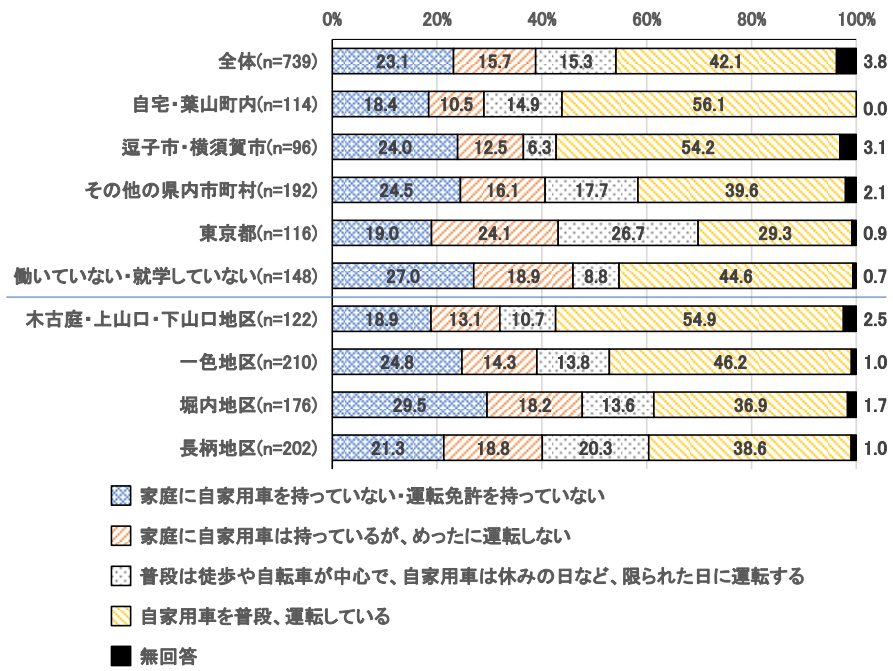
	件数
児童養護施設	1
合計	1

問11 普段、自家用車（二輪車を含む）を運転していますか。（1つだけに○）

- ◆ 自家用車（二輪車を含む）の運転状況については、「自家用車を普段、運転している」が42.1%と最も多く、次いで「家庭に自家用車を持っていない・運転免許を持っていない」が23.1%、「家庭に自家用車は持っているが、めったに運転しない」15.6%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「自家用車を普段、運転している」が10.4ポイント減少し、「家庭に自家用車を持っていない・運転免許を持っていない」が7.5ポイント増加している。
- ◆ 40歳未満では、「家庭に自家用車を持っていない・運転免許を持っていない」が最も多くなっている。
- ◆ 主な通勤先(通学先)別にみると、いずれの通勤先も「自家用車を普段、運転している」が最も多いが、「自宅・葉山町内」「逗子市・横須賀市」では「自家用車を普段、運転している」、「東京都」では「普段は徒歩や自転車を中心に、自家用車は休みの日など、限られた日に運転する」、「家庭に自家用車は持っているが、めったに運転しない」の割合がやや高い。
- ◆ 居住地別にみると、いずれの地区も「自家用車を普段、運転している」が最も多いが、堀内地区では「家庭に自家用車は持っているが、めったに運転しない」、長柄地区では「普段は徒歩や自転車を中心に、自家用車は休みの日など、限られた日に運転する」の割合がやや高い。



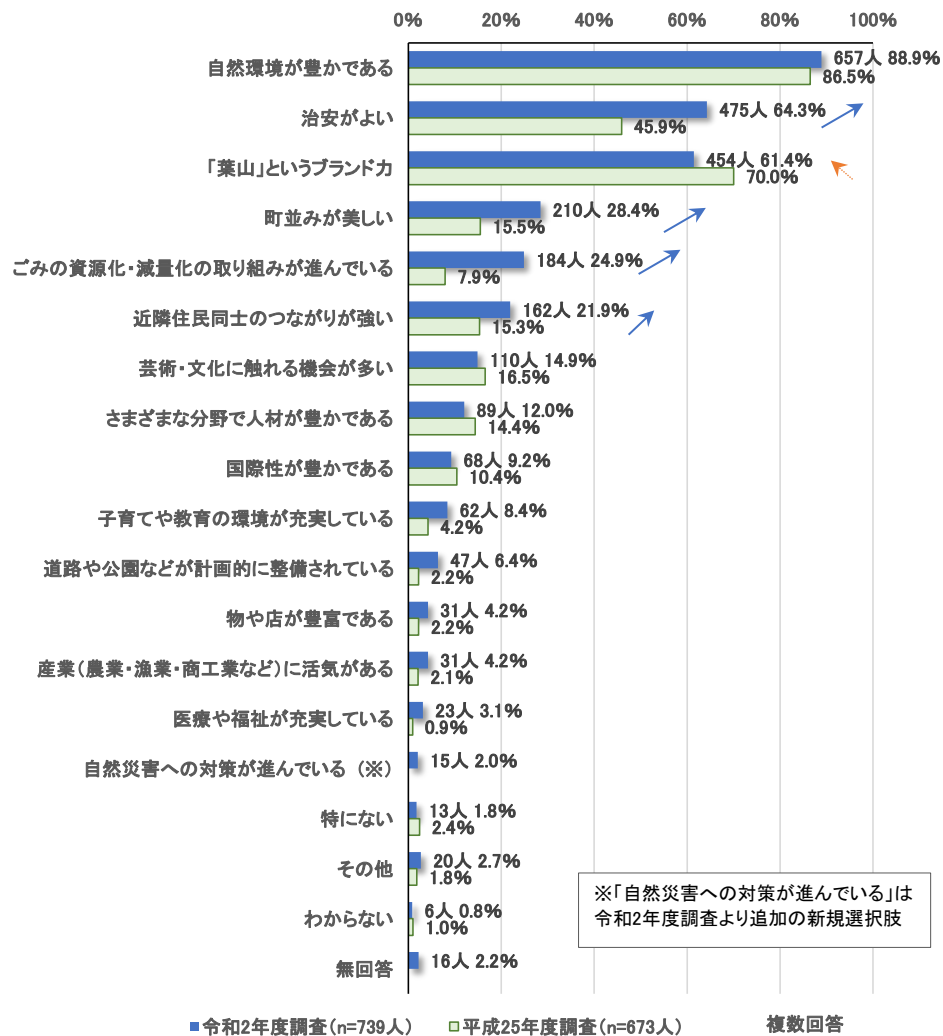
		合計	問11 普段、自家用車（二輪車を含む）を運転				無回答
			家庭に自家用車を持っていない・運転免許を持っていない	家庭に自家用車は持っているが、めったに運転しない	普段は徒歩や自転車を中心に、自家用車は休みの日など、限られた日に運転する	自家用車を普段、運転している	
全体		739	171	116	113	311	28
		100.0	23.1	15.7	15.3	42.1	3.8
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	316	109	62	42	96	7
		100.0	34.5	19.6	13.3	30.4	2.2
	40～59歳	221	17	24	51	128	1
	100.0	7.7	10.9	23.1	57.9	0.5	
	60歳以上	174	44	30	15	83	2
	100.0	25.3	17.2	8.6	47.7	1.1	



2. 葉山町の地域特性・地域力について

問 12 以下の選択肢の中で、葉山町の強みは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆ 町の強みについては、「自然環境が豊かである」が88.9%と最も多く、次いで「治安がよい」が64.3%、「葉山」というブランドカが61.4%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「治安がよい」「ごみの資源化・減量化の取り組みが進んでいる」「町並みが美しい」「近隣住民同士のつながりが強い」でそれぞれ18.4%、17.0ポイント、12.9ポイント、6.6ポイント増加している。一方、「葉山」というブランドカでは8.6ポイント減少している。
- ◆ いずれの年齢層も「自然環境が豊かである」が概ね9割を占めている。40歳未満、60歳以上では「治安が良い」が第2位であるが、40～59歳では「葉山」というブランドカが第2位となっている。



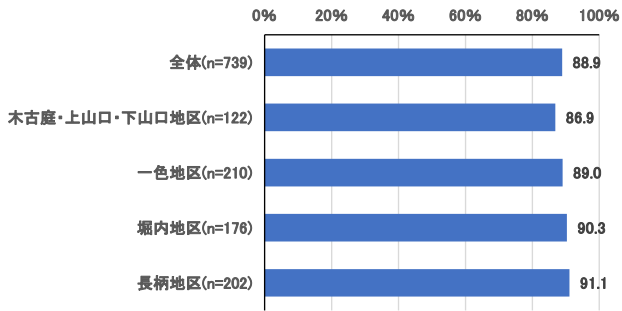
		問12 葉山町の強み																				
合計		自然環境が豊かである	町並みが美しい	道路や公園などが計画的に整備されている	物や店が豊富である	産業（農業・漁業・商工業など）に活気がある	力「葉山」というブランド	取組が進んでいる	ごみの資源化・減量化の	医療や福祉が充実している	実している	子育てや教育の環境が充実している	芸術・文化に触れる機会が多い	国際性が豊かである	近隣住民同士のつながりが強い	さまざまな分野で人材が豊かである	治安がよい	自然災害への対策が進んでいる	特にな	その他	わからない	無回答
全体	739 100.0	657 88.9	210 28.4	47 6.4	31 4.2	31 4.2	454 61.4	184 24.9	23 3.1	62 8.4	110 14.9	68 9.2	162 21.9	89 12.0	475 64.3	15 2.0	13 1.8	20 2.7	6 0.8	16 2.2		
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	316 100.0	283 89.6	125 39.6	26 8.2	16 5.1	15 4.7	190 60.1	70 22.2	11 3.5	39 12.3	49 15.5	32 10.1	85 26.9	28 8.9	216 68.4	10 3.2	8 2.5	3 0.9	5 1.6	2 0.6	
	40～59歳	221 100.0	199 90.0	50 22.6	9 4.1	4 1.8	9 4.1	140 63.3	43 19.5	3 1.4	10 4.5	36 16.3	22 10.0	46 20.8	36 16.3	134 60.6	2 0.9	2 0.9	7 3.2	0 0.0	4 1.8	
	60歳以上	174 100.0	155 89.1	29 16.7	12 6.9	9 5.2	6 3.4	109 62.6	66 37.9	9 5.2	8 4.6	20 11.5	13 7.5	26 14.9	23 13.2	112 64.4	2 1.1	3 1.7	9 5.2	1 0.6	3 1.7	

葉山町の強み（その他記述）

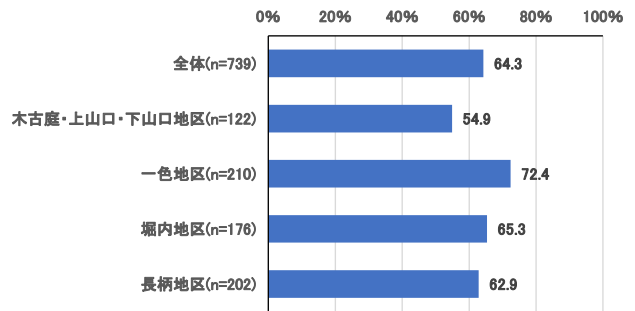
	件数
人間性がよい・おおらかな人が多い	3
良い意味で適度に田舎東京からの距離感	3
御用邸がある	3
海が近い・きれい	2
葉山の暮らし方がいい・葉山愛がある	2
家庭菜園が出来る場所が多い	1
気候が良い	1
子ども達が素直	1
海の家や漁師がいる	1
町長が比較的、若く、エネルギッシュ、誠実	1
鉄道がないこと	1
合計	19

葉山町の強み上位 5 項目の地域別比較

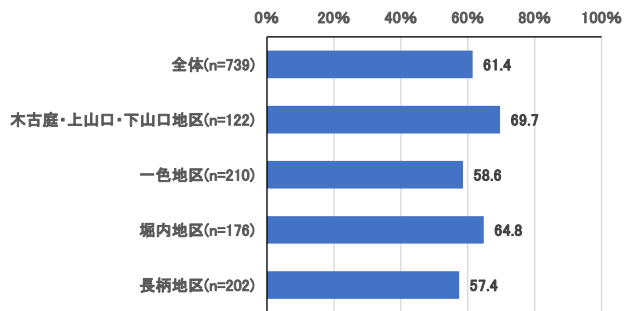
自然環境が豊かである



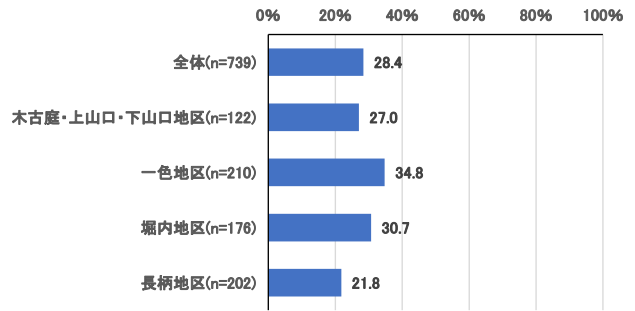
治安がよい



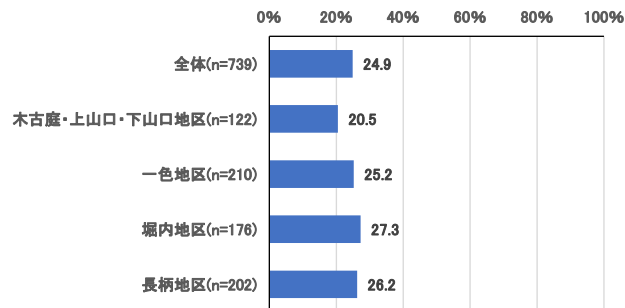
「葉山」というブランドカ



町並みが美しい

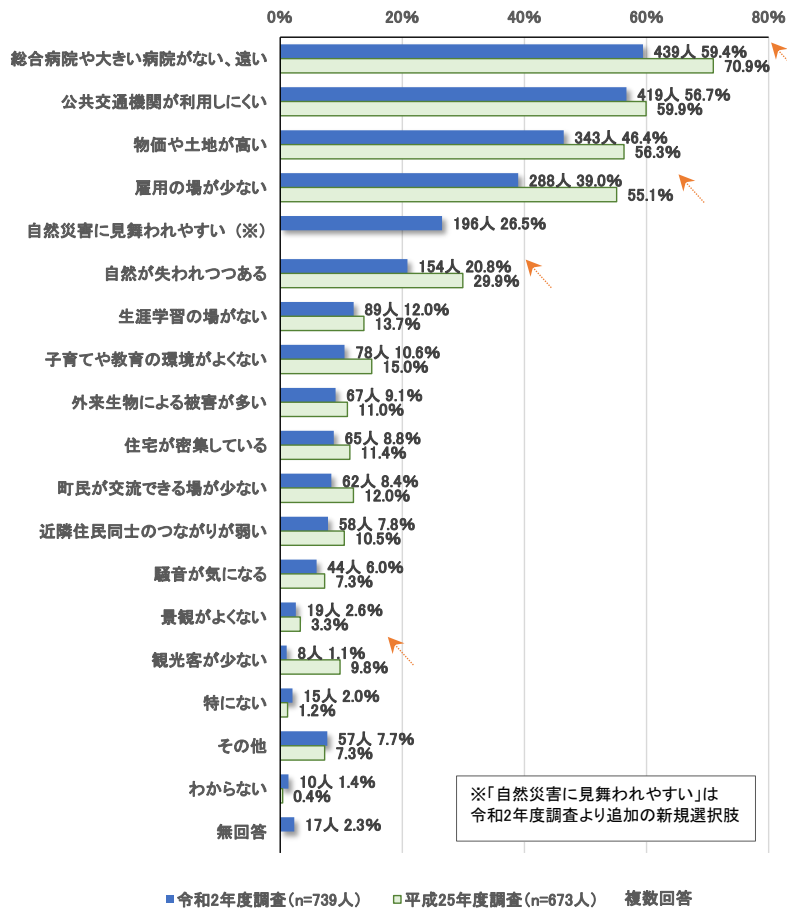


ごみの資源化・減量化の取り組みが進んでいる



問 13 以下の選択肢の中で、葉山町の弱みは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆ 町の弱みについては、「総合病院や大きい病院がない、遠い」が59.4%と最も多く、次いで「公共交通機関が利用しにくい」が56.7%、「物価や土地が高い」が46.4%、「雇用の場が少ない」が39.0%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「雇用の場が少ない」「総合病院や大きい病院がない、遠い」「自然が失われつつある」「観光客が少ない」でそれぞれ16.1ポイント、11.5ポイント、9.1ポイント、8.7ポイント減少している。
- ◆ 40歳以上では「総合病院や大きい病院がない、遠い」が最も多くなっているが、40歳未満では「公共交通機関が利用しにくい」が最も多くなっている。



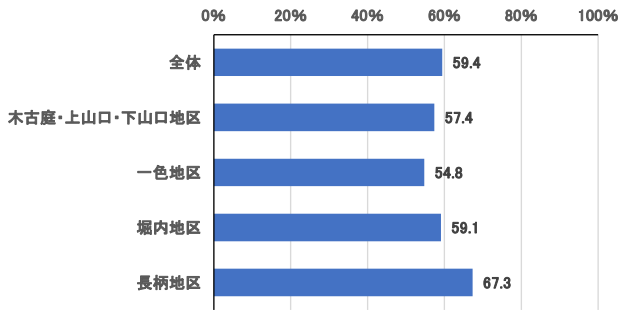
	合計	問13 葉山町の弱み																			
		物価や土地が高い	住宅が密集している	景観がよくない	公共交通機関が利用しにくい	騒音が気になる	観光客が少ない	雇用の場が少ない	自然が失われつつある	外来生物による被害が多い	総合病院や大きい病院がない、遠い	町民が交流できる場が少ない	近隣住民同士のつながりが弱い	子育てや教育の環境がよくない	生涯学習の場がない	自然災害に見舞われやすい	特にない	その他	わからない	無回答	
全体	739	343	65	19	419	44	8	288	154	67	439	62	58	78	89	196	15	57	10	17	
	100.0	46.4	8.8	2.6	56.7	6.0	1.1	39.0	20.8	9.1	59.4	8.4	7.8	10.6	12.0	26.5	2.0	7.7	1.4	2.3	
問2 年齢(3区分)	40歳未満	316	146	35	10	189	19	2	107	56	17	165	19	13	41	29	80	6	32	10	3
		100.0	46.2	11.1	3.2	59.8	6.0	0.6	33.9	17.7	5.4	52.2	6.0	4.1	13.0	9.2	25.3	1.9	10.1	3.2	0.9
	40～59歳	221	104	15	6	126	10	3	89	43	18	130	17	18	26	29	61	4	15	0	3
	100.0	47.1	6.8	2.7	57.0	4.5	1.4	40.3	19.5	8.1	58.8	7.7	8.1	11.8	13.1	27.6	1.8	6.8	0.0	1.4	
60歳以上	174	81	11	2	95	12	3	83	48	30	131	26	25	9	30	44	5	9	0	4	
	100.0	46.6	6.3	1.1	54.6	6.9	1.7	47.7	27.6	17.2	75.3	14.9	14.4	5.2	17.2	25.3	2.9	5.2	0.0	2.3	

葉山町の弱み（その他記述）

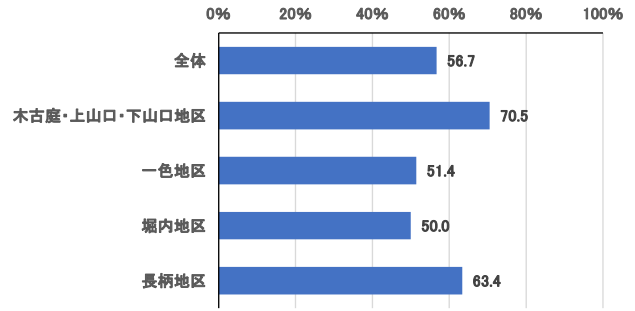
大分類	内容	件数
景観ブランド	「葉山」というブランド力の低下	3
	景観が失われつつある	1
	葉山生まれ育ちでないによそ者扱いされる	1
	人が多くなり騒がしくなった	1
	全部そこそこそんな感じ	1
観光客	観光客が住民の暮らしを圧迫	5
	観光客のマナーが悪い	4
道路・交通	道路が狭い	8
	幹線道路で渋滞が発生	4
災害時の対応	災害時の対策が充分でない	3
	災害時の避難生活する施設がない	1
公園・遊び場	幼児、子供の遊び場が少ない	3
	公園が少ない	3
施設	商業施設が少ない	8
	運動施設がない（スケートパーク・スポーツセンター・体育館等）	4
	駅がない	2
	病院が無い	1
	文化的建築物の老朽化	1
	銭湯がない	1
教育	子供の学習環境（タブレットの配布など）医療費	1
	保育環境が少ない	1
	教育体制がよくない	1
環境	焚火の匂いがひどい	1
	ガスがプロパン	1
	山に登る階段をしっかりと物にしてほしい	1
	高齢者が多い	1
行政関係	税収が少ない	2
	町会議員の活動が弱い	1
	住民税、健保料金高い	3
	役場の対応に大変不満	1
	コロナ禍の中アンケートが早急な急務と思えない	1
	葉山町による、出身者を対象とした奨学金、支援金などが少ない	1
	逗子に比べて立場が弱い	1
	芸術、音楽への取り組みが少ない	1
	調整区域が多く店舗が建てにくい	1
その他	人材が活用されてない	1
	ローカリズム排外主義	1
	若者にも色々考えてほしい	1
合計		77

葉山町の弱み上位6項目の地域別比較

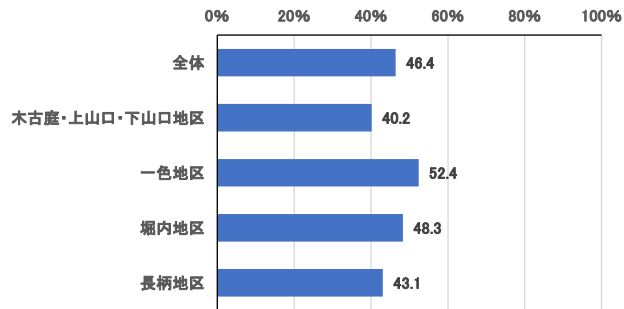
総合病院や大きい病院がない、遠い



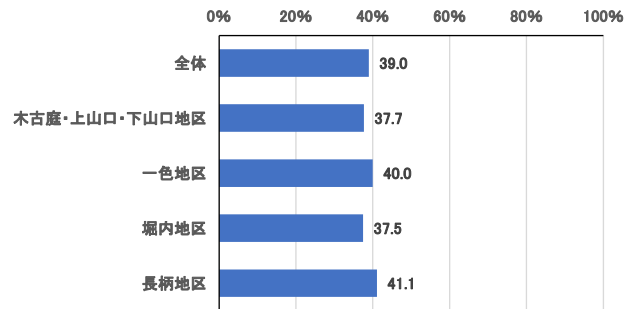
公共交通機関が利用しにくい



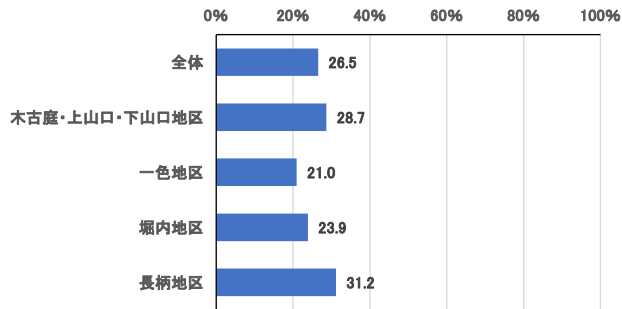
物価や土地が高い



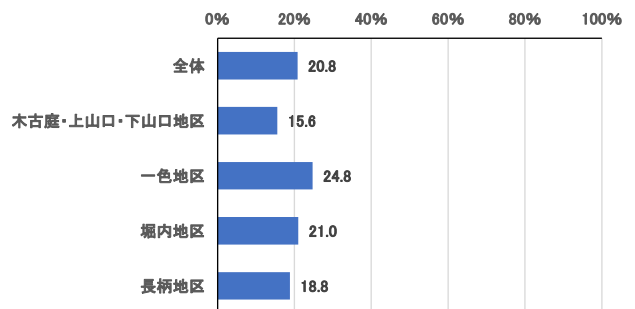
雇用の場が少ない



自然災害に見舞われやすい



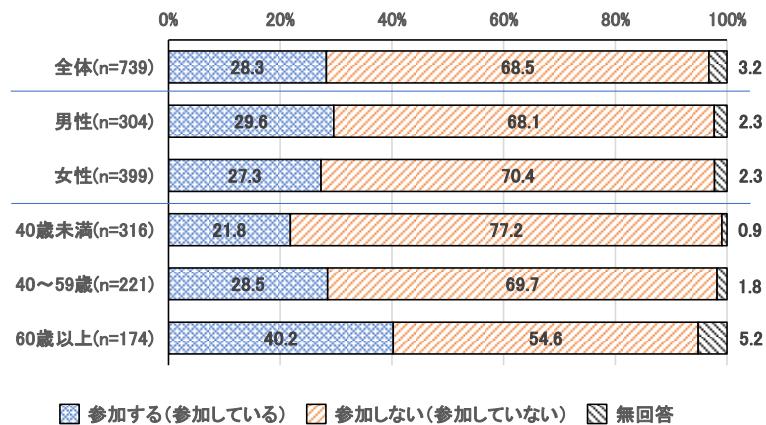
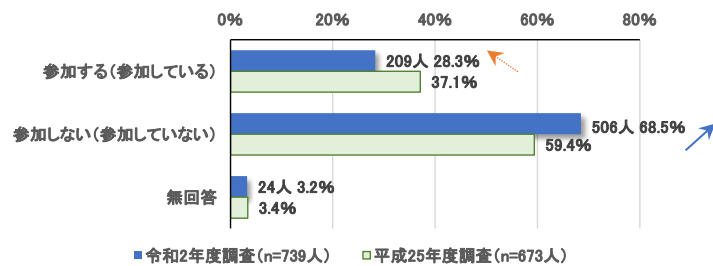
自然が失われつつある



3. 協働によるまちづくり

問 14-① 個人としてまたは地域団体などで行う「暮らしやすいまちをつくる」ための取り組みに参加しますか(参加していますか)。(あてはまる方に○)

- ◆ 「暮らしやすいまちをつくる」ための取り組みへの参加意向(状況)については、「参加する(参加している)」は28.3%、「参加しない(参加していない)」は68.5%となっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「参加する(参加している)」は8.8ポイント減少、「参加しない(参加していない)」は9.1ポイント増加している。
- ◆ 年齢層別にみると、「参加する(参加している)」人の割合は40歳未満でやや低くなっている。また、男女別にみると「参加する(参加している)」人の割合は、女性より男性でわずかに高くなっている。

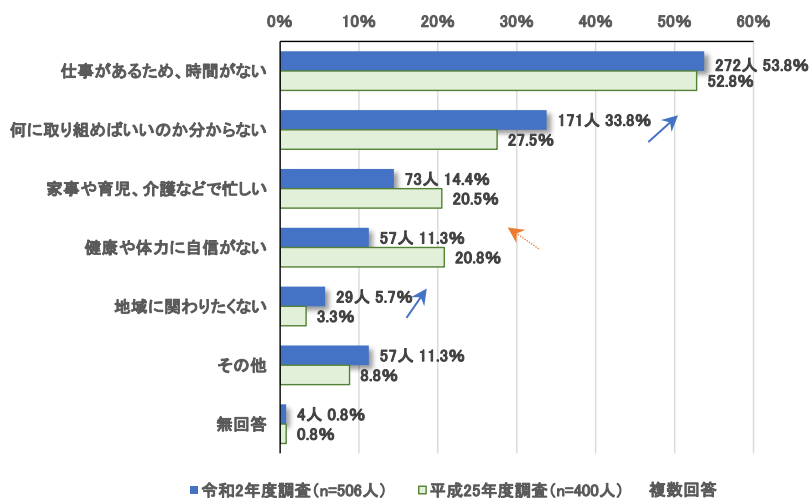


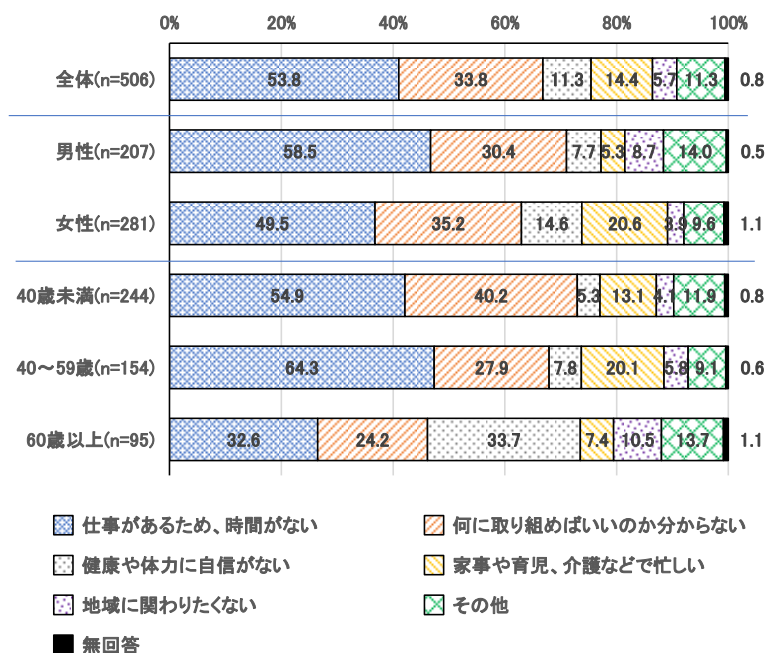
問 14-①で「参加しない(参加していない)」と回答された方

問 14-② 個人としてまたは地域団体などで行う「暮らしやすいまちをつくる」ための取り組みに参加しない(参加していない)のはなぜですか。

(あてはまるものすべてに○、回答後は次の問 14-③へ進んでください)

- ◆ 前の設問で「暮らしやすいまちをつくる」ための取り組みに参加しない(参加していない)と答えた理由については、「仕事があるため、時間がない」が53.8%と最も多く、次いで「何に取り組みばいいのかわからない」が33.8%、「家事や育児、介護などで忙しい」が14.4%などとなっている。一方「地域には関わりたくない」は5.7%である。
- ◆ 前回調査と比較すると、「何に取り組みばいいのかわからない」で6.3ポイント増加、「健康や体力に自信がない」は9.5ポイント減少している。一方「地域には関わりたくない」は2.4ポイント増加している。
- ◆ 年齢層別にみると、40歳未満では「何に取り組みばいいのかわからない」が、40～59歳未満では「家事や育児、介護などで忙しい」が、60歳以上では「健康や体力に自信がない」の回答割合が高くなっている。また、男女別にみると、女性で「家事や育児、介護などで忙しい」が高くなっている。





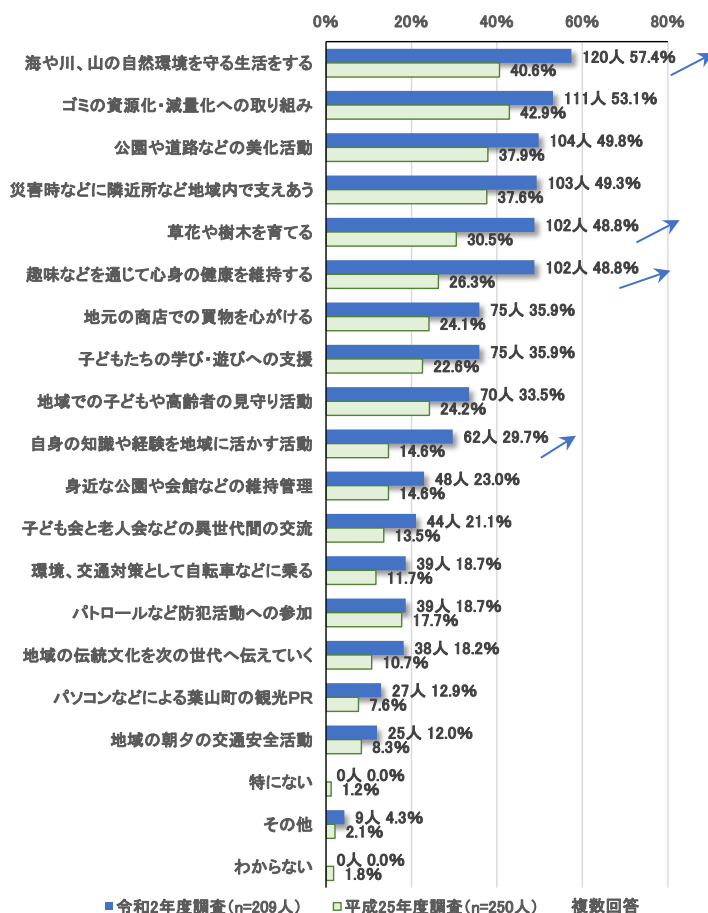
問 14-② 参加しない（参加していない）理由（その他記述）

	件数
学生だから・学業が忙しいため	17
参加できる取組みの情報が届かない/無い・接点がない	7
時間がない・忙しいため	4
将来的には考えたい	2
持病があるため・障害者なため	2
機会がないため	2
高齢のため	2
興味がないため	1
神奈川にいないため	1
介護があるため	1
自発的に個別にやるべき	1
環境が醸成されていない	1
子供達が横須賀市の学校に通ったのでママ友などが出来なかったため	1
参加したところで暮らしやすいまちになる気がしないから	1
まちを盛り上げよう！という気概のある人がいると思えないため	1
やりたくない・めんどくさい・	5
合計	49

問14-②で「参加する(参加している)」と回答された方

問14-③ 町民としてあるいは地域団体などで、「暮らしやすいまちをつくるためにできる」と思えることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆ 町民や地域団体などとして「暮らしやすいまちをつくるためにできる」と思えることについては、「海や川、山の自然環境を守る生活をする」、「ゴミの資源化・減量化への取り組み」、「公園や道路などの美化活動」、「災害時などに隣近所など地域内で支えあう」などが挙げられている。
- ◆ 前回調査と比較すると、全ての項目で増加しており、特に「趣味などを通じて心身の健康を維持する」「草花や樹木を育てる」「海や川、山の自然環境を守る生活をする」「自身の知識や経験を地域に活かす活動」でそれぞれ22.5ポイント、18.3ポイント、16.8ポイント、15.1ポイント増加している。
- ◆ 年齢別にみると、40歳未満では、「子どもたちの学び・遊びへの支援」、「子ども会と老人会などの異世代間の交流」、40～59歳では「海や川、山の自然環境を守る生活をする」、60歳以上では「趣味などを通じて心身の健康を維持する」、「災害時などに隣近所など地域内で支えあう」、「草花や樹木を育てる」、「身近な公園や会館などの維持管理」「パトロールなど防犯活動への参加」などで回答割合が高くなっている。



合計		問14-③ 町民としてあるいは地域団体などで「暮らしやすいまちをつくるためにできる」こと																													
		活動公園や道路などの美化	草花や樹木を育てる	ゴミの資源化・減量化への取り組み	身の維持管理や公園などの維持管理	自転車などに乗る	環境、交通対策として	山町の観光PR	パソコンなどによる葉	心がける	地元の商店での買物を	海や川、山の自然環境を守る生活をする	動への参加	パトロールなど防犯活	活動地域の朝夕の交通安全	地域の朝の学び・遊	子どもたちの学び・遊	の異世代間の交流	子ども会や老人会など	者の見守り活動	地域での子どもや高齢	域に活かす活動	自身の知識や経験を地	世代へ伝えていく	地域の伝統文化を次の	の健康を維持する	趣味などを通じて心身	ど地域内で支えあう	災害時などに隣近所な	特にな	その他
全体	209 100.0	104 49.8	102 48.8	111 53.1	48 23.0	39 18.7	27 12.9	75 35.9	120 57.4	39 18.7	25 12.0	75 35.9	44 21.1	70 33.5	62 29.7	38 18.2	102 48.8	103 49.3	0 0.0	9 4.3	0 0.0	0 0.0									
問1 性別	男性	90 100.0	44 48.9	42 46.7	42 30.0	27 17.8	16 20.0	18 31.1	28 55.6	21 23.3	11 12.2	34 37.8	17 18.9	20 22.2	34 37.8	17 18.9	46 51.1	42 46.7	0 0.0	5 5.6	0 0.0	0 0.0									
	女性	109 100.0	54 49.5	56 51.4	65 59.6	20 18.3	20 18.3	9 8.3	43 39.4	64 58.7	18 16.5	13 11.9	38 34.9	27 24.8	47 43.1	24 22.0	52 47.7	57 52.3	0 0.0	3 2.8	0 0.0	0 0.0									
	回答しない	2 100.0	2 ###	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0									
問2 年齢 (3区分)	40歳未満	69 100.0	34 49.3	32 46.4	37 53.6	17 24.6	18 26.1	12 17.4	23 33.3	40 58.0	13 18.8	14 20.3	35 50.7	24 34.8	23 33.3	18 26.1	13 18.8	29 42.0	33 47.8	0 0.0	4 5.8	0 0.0	0 0.0								
	40～59歳	63 100.0	31 49.2	28 44.4	31 49.2	10 15.9	11 17.5	6 9.5	22 34.9	42 66.7	9 14.3	4 6.3	22 34.9	10 15.9	19 30.2	19 30.2	13 20.6	29 46.0	28 44.4	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0								
	60歳以上	70 100.0	36 51.4	39 55.7	40 57.1	20 28.6	8 11.4	9 12.9	27 38.6	33 47.1	17 24.3	6 8.6	15 21.4	10 14.3	25 35.7	22 31.4	12 17.1	41 58.6	38 54.3	0 0.0	4 5.7	0 0.0	0 0.0								

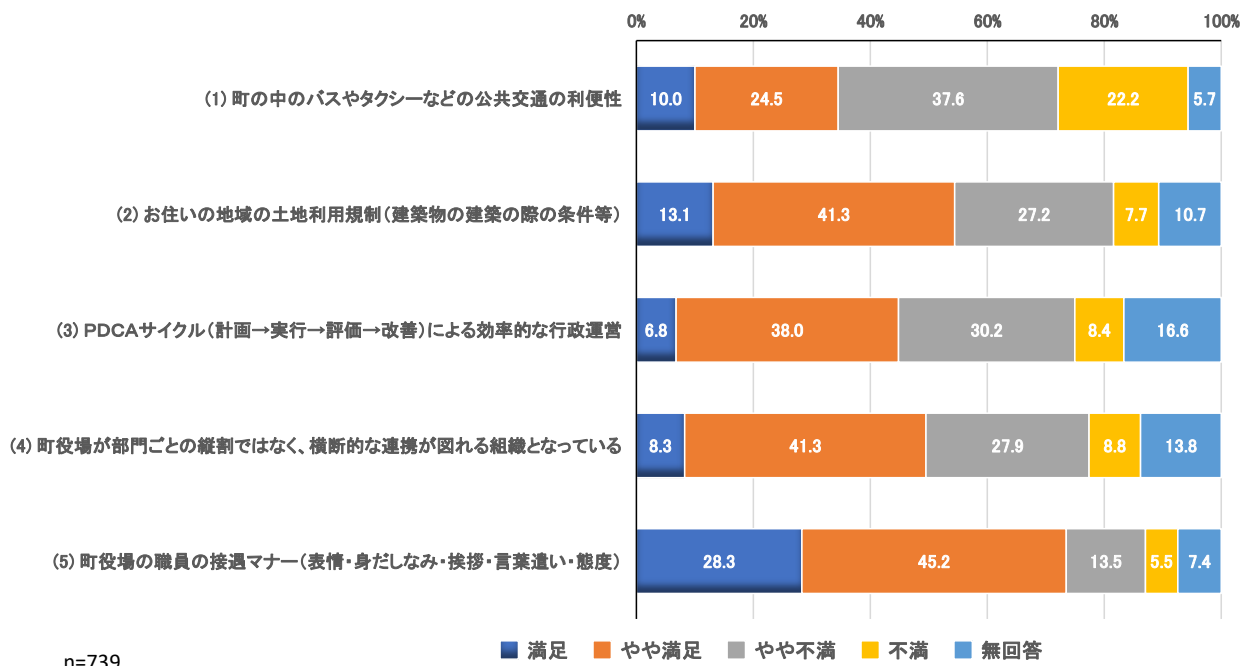
問14-③ 「暮らしやすいまちをつくるためにできる」こと（その他記述）

	件数
IT化	1
SNSでの観光PR	1
海の環境を守り漁業者を育成する・川の環境を守り親水地域を創る	1
公園等での定例的な健康体操	1
公道にカーブステップを取りのぞく必要	1
消防団支援隊	1
スポーツイベントを増やす、地元の高校のスポーツを応援する	1
もっと町民に負荷を負わせたいということでしょうか	1
若い時は主人と町のために参加支援して来ました	1
合計	9

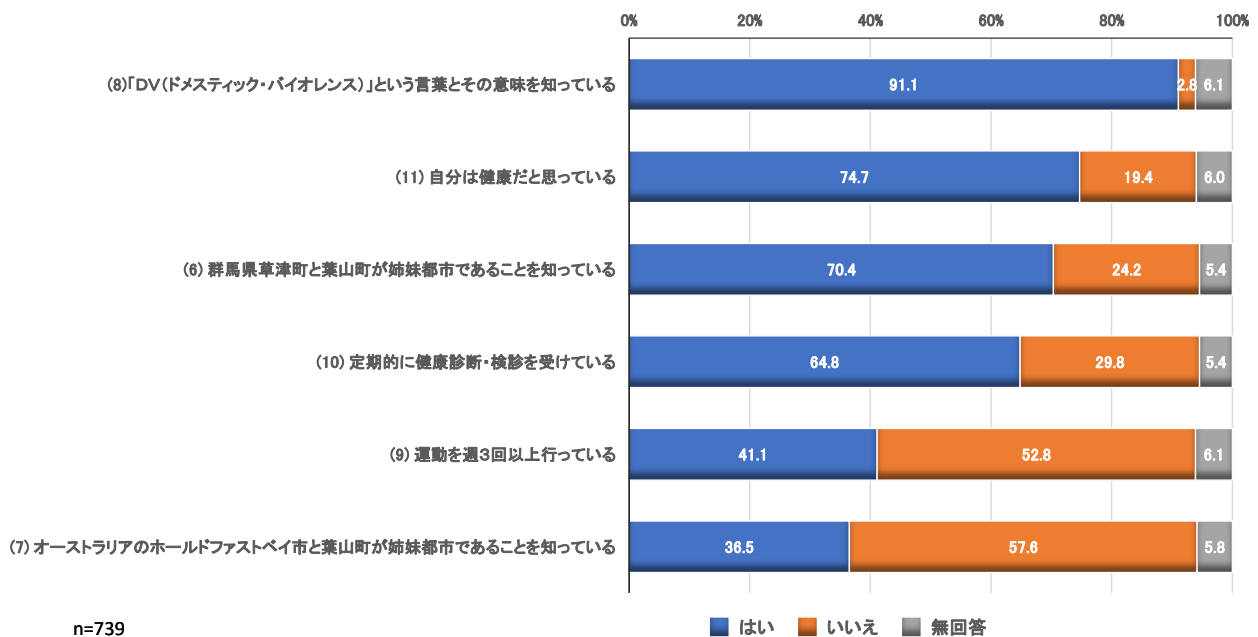
問 15 基本計画では、「基本施策がめざす姿(目標)」の達成に向けて、各施策の取り組みの評価をするための指標として「めざそう値」を設けています。その指標の中で、町民の皆様の認知度や満足度などの割合を指標にしている次の(1)~(8)の項目について、該当する番号からそれぞれ1つ選び○をつけてください。

- ◆ 5つの満足度指標では、「町の中のバスやタクシーなどの公共交通の利便性」が“不満”^(注)が“満足”^(注)を上回っているが、「町役場の職員の接遇マナー(表情・身だしなみ・挨拶・言葉遣い・態度)」、「お住いの地域の土地利用規制(建築物の建築の際の条件等)」、「町役場が部門ごとの縦割ではなく、横断的な連携が図れる組織となっている」、「PDCAサイクル(計画→実行→評価→改善)による効率的な行政運営」では“満足”が“不満”を上回っており、とくに「町役場の職員の接遇マナー(表情・身だしなみ・挨拶・言葉遣い・態度)」の満足度は73.5%と高い。

(注) “満足” = 「満足」 + 「やや満足」、「不満」 = 「やや不満」 + 「不満」



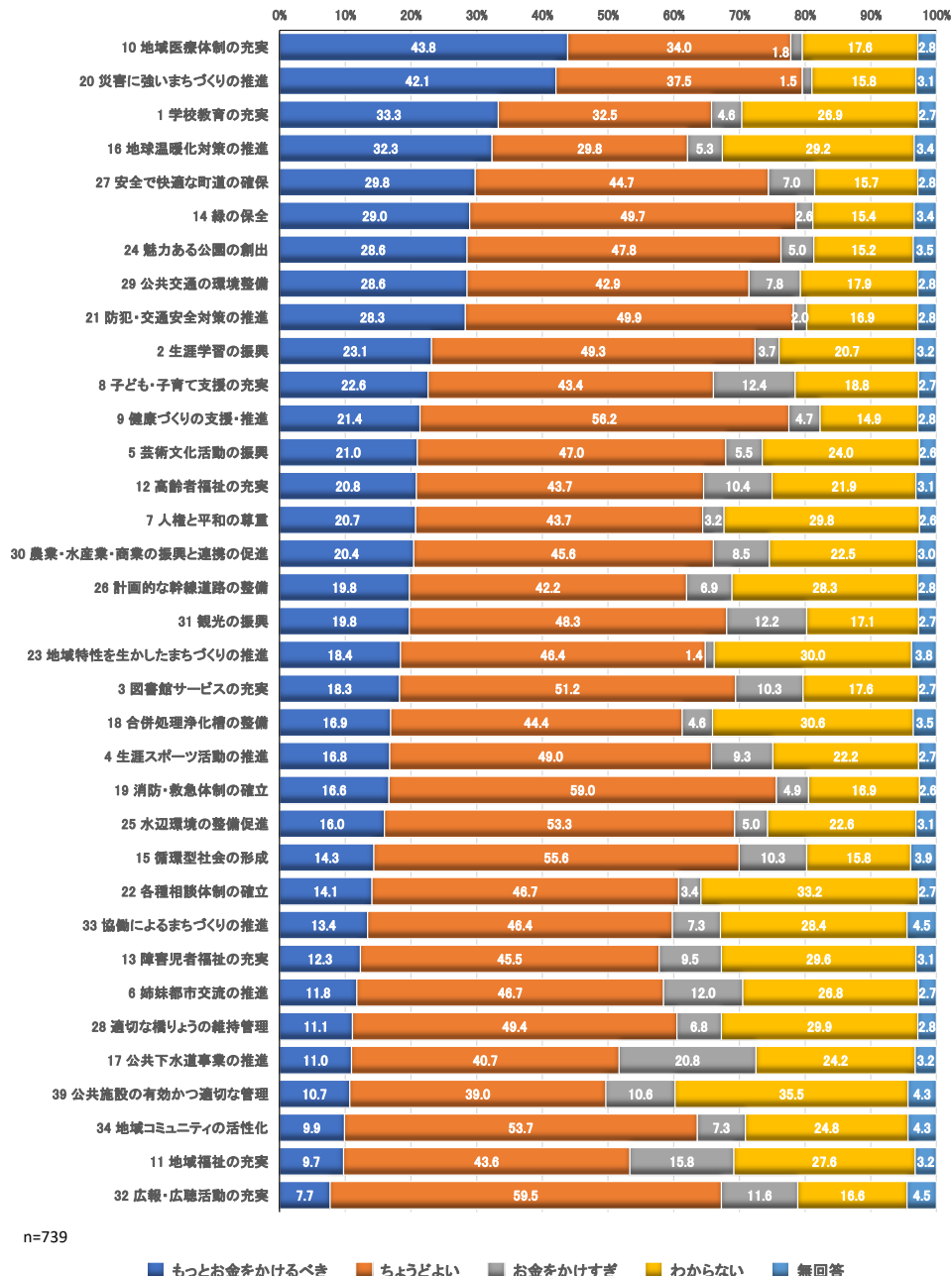
- ◆ 5つの認知度指標では、「DV（ドメスティック・バイオレンス）」という言葉とその意味を知っている、「自分は健康だと思っている」、「群馬県草津町と葉山町が姉妹都市であることを知っている」、「定期的に健康診断・検診を受けている」、「運動を週3回以上行っている」、「オーストラリアのホールドファストベイ市と葉山町が姉妹都市であることを知っている」の順に「はい」の割合が高くなっている。とくに、「DV（ドメスティック・バイオレンス）」という言葉とその意味を知っている、「自分は健康だと思っている」、「群馬県草津町と葉山町が姉妹都市であることを知っている」では「はい」の割合が7割を超えている。



5. 事業へのお金のかけ方について

問 16 あなたやご家族にとって、身近ではない施策があるかもしれませんが、納税者の立場から、または納税者になったと仮定して、町のお金のかけ方として納得できるかどうか、できるだけ客観的にお答えください。(〇をひとつ)

- ◆ 事業へのお金のかけ方では、「もっとお金をかけるべき」の上位5位は、「地域医療体制の充実」「災害に強いまちづくりの推進」「学校教育の充実」「地球温暖化対策の推進」「安全で快適な町道の確保」であった。「お金をかけすぎ」の上位5位は、「公共下水道事業の推進」「地域福祉の充実」「子ども・子育て支援の充実」「観光の振興」「姉妹都市交流の推進」であった。「ちょうどよい」の上位5位は、「広報・広聴活動の充実」「消防・救急体制の確立」「健康づくりの支援・推進」「循環型社会の形成」「地域コミュニティの活性化」であった。また、「わからない」の上位5位は、「公共施設の有効かつ適切な管理」「各種相談体制の確立」「合併処理浄化槽の整備」「地域特性を生かしたまちづくりの推進」「適切な橋りょうの維持管理」となっている。



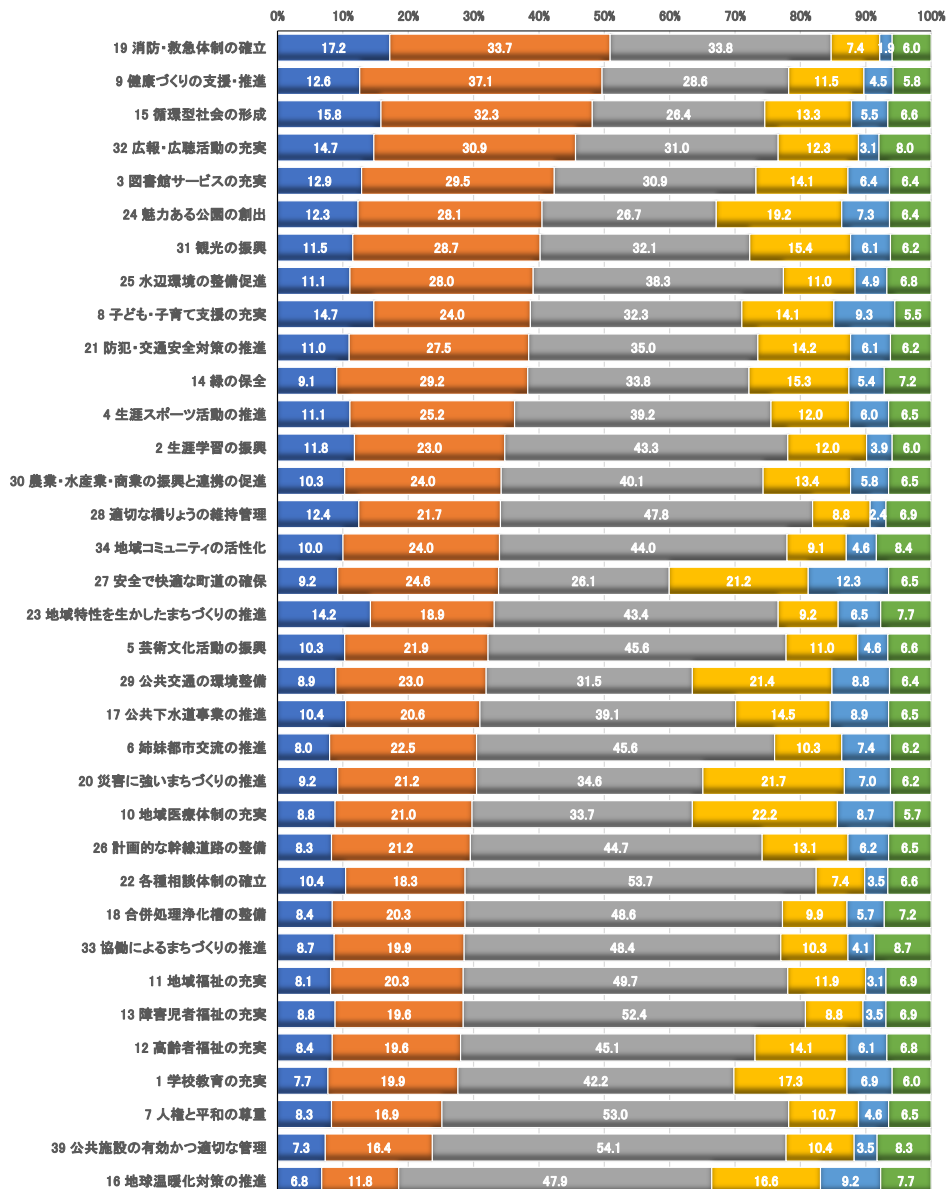
6. まちづくりへの満足度について

問 17 問 16 で回答いただいた 35 の基本施策の現状について、どのように感じていますか。1～5 の番号から 1 つ選び○をつけてください。

- ◆ 施策の満足度では、満足度(注)の高かった上位 5 位は、「消防・救急体制の確立」「健康づくりの支援・推進」「循環型社会の形成」「広報・広聴活動の充実」「図書館サービスの充実」であり、満足度の低かった下位 5 位は「地球温暖化対策の推進」「公共施設の有効かつ適切な管理」「人権と平和の尊重」「学校教育の充実」「高齢者福祉の充実」である。「どちらともいえない」の割合が高かった上位 5 位は、「公共施設の有効かつ適切な管理」「各種相談体制の確立」「人権と平和の尊重」「障害児者福祉の充実」「地域福祉の充実」であった。また、“不満”が“満足”を上回っていたのは、「地域医療体制の充実」と「地球温暖化対策の推進」の 2 施策である。

(注)満足度＝「満足」＋「やや満足」

(注) “満足”＝「満足」＋「やや満足」、「不満」＝「やや不満」＋「不満」



n=739

■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答

施策の満足度とお金のかけ方の関係

- ◆ 施策の満足度とお金のかけ方の関係をみると、全体的には、満足度が低い施策に「もっとお金をかけるべき」の割合が高い傾向がみられるが、「公共下水道の推進」「地域福祉の充実」「姉妹都市交流の推進」「公共施設の有効かつ適切な管理」など、満足度が低いにもかかわらず「お金をかけすぎ」の割合が高い施策がみられる。

